



伊賀市立三訪小学校

2026年 9月11日 No.6

発行責任者 青山 幸輝



学校評価アンケート結果について

保護者のみなさまには、1学期末におこなった学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果をお知らせします。(下表の％は、肯定的回答です。)

No.	児童アンケート項目	％	保護者アンケート項目	％
1	学校へ行くのが楽しい。	95	お子さんは、学校に楽しく行けている。	87
2	先生や友だちの話を、よく聞いている。	93		
3	勉強や話し合いの中で、自分の考えを伝えている。	79		
4	忘れ物がないように気をつけて学習の準備をしている。	84		
5	授業の中で進んで考え、学ぼうとしている。	91		
6			学校は、子どもに学力が身につけられるように教育活動を進めている。	93
7	授業はわかりやすい。	97	お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	88
8	家で学年に応じた勉強時間を守って学習に取り組んでいる。学年×10分以上	79	お子さんは、「学年×10分以上」の家庭学習が身についている。	64
9	よく読書をしている。	58	お子さんは、進んで読書をしている。	49
10			家庭では、子どもに読書習慣が身につくように促している。	57
11	時間を守って、ゲームをしたり、スマホやタブレットを使ったりしている。	76	お子さんは、時間を守って、ゲームやスマホ・タブレットを使っている。	59
12			学校は、人権を大切にし、一人ひとりの違いやよさを認め合うなかまづくりに努めている。	96
13			お子さんは、相手の気持ちを考えて、友だちとなかよくしている。	97
14	自分には、よいところがある。	80		
15	こまったことを先生に相談することができる。	80		
16	進んであいさつをしている。	96	お子さんは、進んであいさつをしている。	88
17	時間いっぱいまで、そうじに取り組んでいる。	93		
18	係(委員会)や当番の仕事で、みんなが気持ちよく過ごせるように考えている。	95		
19	おうちのひと、家や学校での出来事についてよく話をする。	86	お子さんと、よく話をしていますか。	93
20	早ね・早起きができ、朝ごはんを食べている。	82	お子さんは、早寝・早起きをし、朝ごはんを食べている。	83
21	自分の、しょうらいの夢や目標について考えている。	84		
22			家庭では、子どもの良いところやがんばったところをほめている。	95
23			学校は、便りやHPで子どもや学校の様子を、わかりやすく伝えている。	93
24			学校は、連絡や相談をしたときは、ていねいに対応をしている。	96
25			学校は、保護者の意見を取り入れて、改善に努めていると思う。	93
26			学校は、子どもたちの安全や事故防止に努めている。	95
27	児童会や学級のきまりを守っている。	93		

1 児童アンケート結果から

① 成果が見られた項目

「授業はわかりやすい」「進んで考え学ぼうとしている」は、昨年度と同じ高い水準を維持しており、「進んであいさつをしている」96%、「みんなが気持ちよく過ごせるようにしている」95%、「児童会や学級のきまりをまもっている」93%も高い数値となりました。日々の授業改善や声かけの成果が表れていると考えています。「学校へ行くのが楽しい」は95%となり、昨年度の91%を上回りました。ほとんどの子どもたちが安心して学校生活を送り、楽しく学ぶことができている様子が見えませんが、特にこの項については、全児童が肯定的に回答できるように取り組んでいきたいと考えています。また、「おうちの人と家や学校の出来事について話をする」は昨年度より11ポイント上昇しました。家庭での会話が子どもたちの安心感や成長を支えることにもつながっています。

② 課題として見えてきたこと

「忘れ物がないように学習準備をしている」は91%から84%へ昨年度から数値が低下しました。学習への意欲の育成や自分の持ち物管理等が引き続き課題となっています。また、「自分にはよいところがある」は86%から80%、「困ったことを先生に相談できる」は80%となっています。自己肯定感や相談しやすい環境づくりについて、さらに充実を図る必要があります。さらに、「学年×10分以上の家庭学習」が79%、「読書をしている」が58%、「ゲームやスマホ、タブレットの時間を守る」が76%となり、いずれも低い数値となっています。昨年度からの課題となっているスクリーンタイムや読書習慣については継続した取組やさらなる取組が必要であると考えています。

2 保護者アンケート結果から

① 高い評価をいただいた項目

「学校は人権を大切に、一人ひとりの違いやよさを認め合うなかまづくりに努めている」が96%となり、昨年度より4ポイント上昇しました。学校の人権教育や仲間づくりに対して高い評価をいただいています。また、「学校は子どもに学力が身につくよう教育活動を進めている」「学校だよりやホームページで学校の様子を伝えている」「保護者の意見を取り入れ改善に努めている」は、いずれも93%となっています。さらに、「学校は連絡や相談に丁寧に対応している」は96%、「学校は安全や事故防止に努めている」は95%と高い数値となっています。

② 今後の課題

「おさんは学校に楽しく行けている」は87%、「授業が分かりやすいと言っている」は88%へ昨年度よりも若干数値が下がっています。児童アンケートでは高い評価となっている一方で、保護者の方の受け止め方との間に差が見られる結果となりました。また、「家庭学習が身につけている」は64%、「進んで読書をしている」は49%、家庭学習の習慣や読書習慣について課題が見られました。「ゲーム、スマホ、タブレットの時間を守る」が59%も児童アンケートでも同様の傾向が見られるため、学校と家庭が連携して改善を図る必要があります。特に、読書や自主学習についても、より家庭とともに進めていけるように4月に音読カードを改訂していますので、引き続きご協力をよろしく願います。

3 今後に向けて

今回の結果から、「楽しい学校づくり」「わかりやすい授業づくり」「人権を大切にしたいなかまづくり」「学校からの情報発信と相談体制」が継続して高く評価されていることが分かりました。しかし、「家庭学習の定着」「読書習慣の向上」「自己肯定感の育成」「自分の考えを表現する力の向上」「基本的な生活習慣の確立」が課題となっています。アンケート結果や日々の教育活動の課題解決に向けて、2学期以降も取り組んでいきたいと考えています。学校と家庭が同じ方向を向いて子どもたちの成長を支えていけますよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。